

タイムライン試行版の運用方針

室蘭地方気象台 防災管理官 田辺 順一

「沙流川平取地区水害タイムライン試行版」完成報告
平成29年5月31日（水）
平取町中央公民館 大ホール

■ 運用の目的

沙流川平取地区水害タイムラインを試行的に運用することにより、対応行動や実施手順を確認するとともに、運用結果を検証し同タイムラインを精査・改善していくことを目的とする。

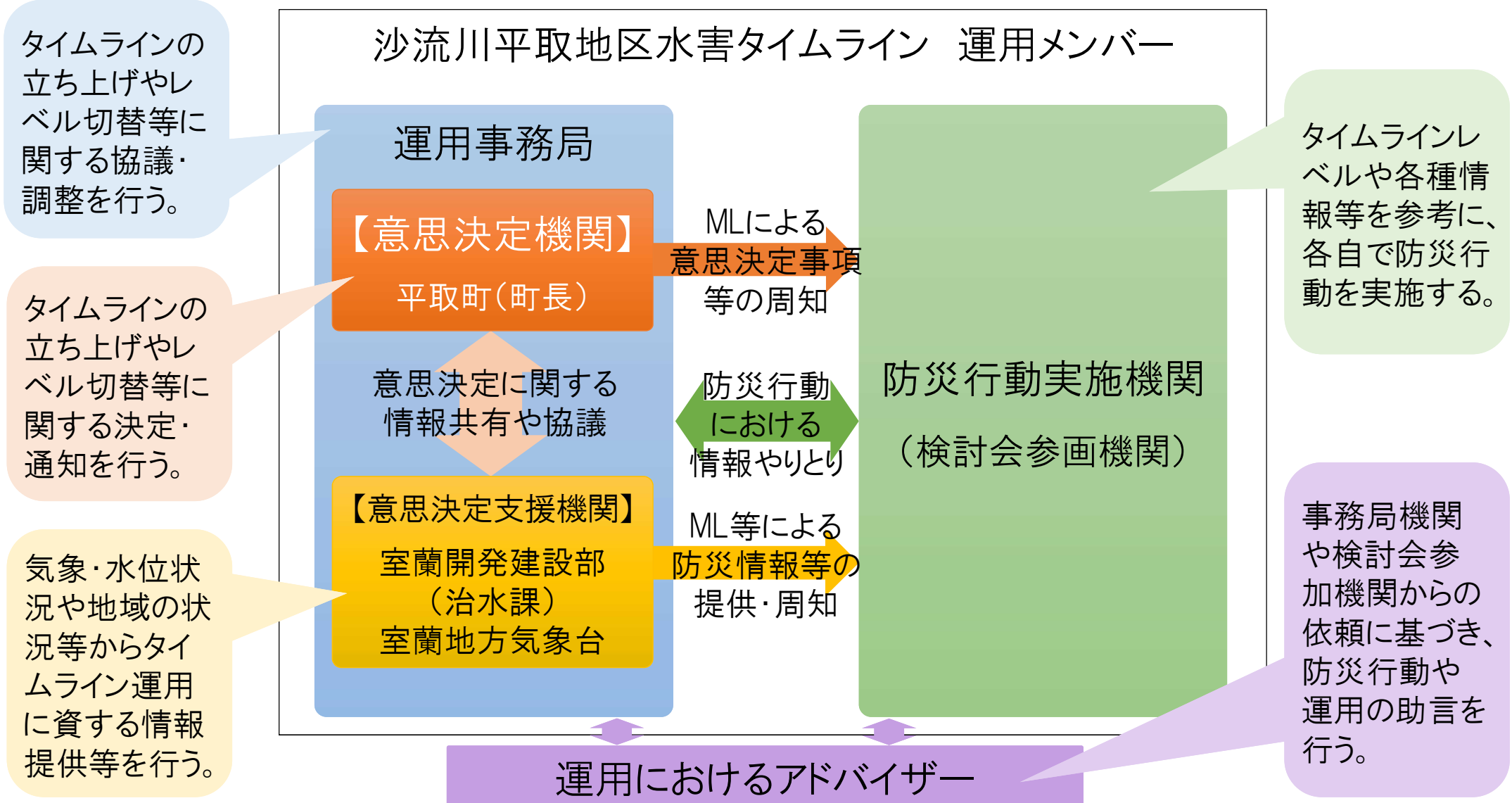
■ 試行の方法

平成29年の出水期から、検討会参加機関により試行運用する。試行は事務局機関による意思決定に基づき参加機関への周知をもって開始する。

■ 試行のポイント

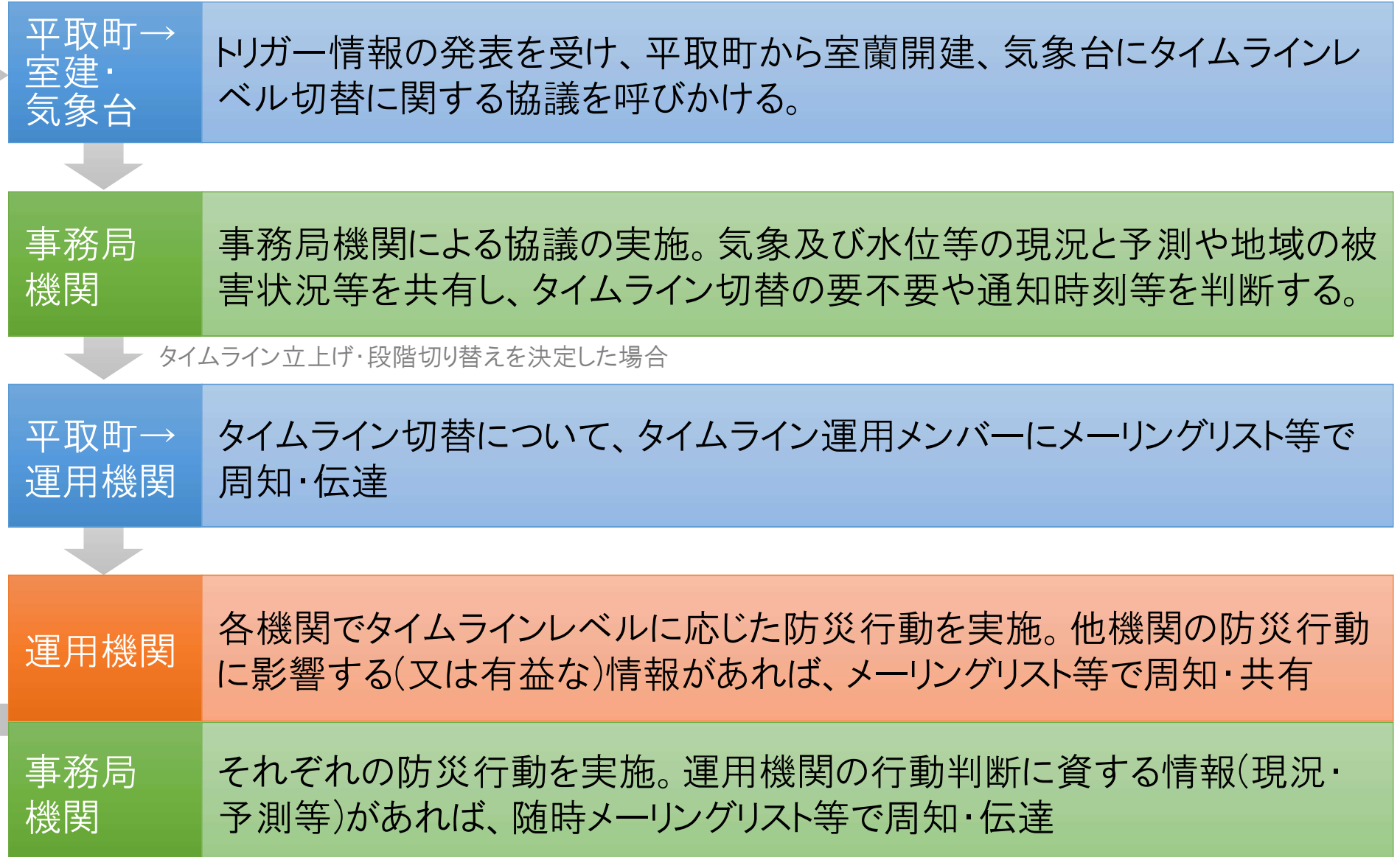
- ① 平取町・室蘭開発建設部・室蘭地方気象台の協議による意思決定
(タイムライン立上げ、タイムラインレベル移行の判断)
- ② メーリングリストを活用した情報の共有
- ③ 試行の振り返り検証に向けた対応行動の記録

■ 運用体制



■ タイムラインレベル移行の判断の流れ

次のレベル切替に関わる情報の収集



《タイムラインの検証・改善》

■目的

タイムライン試行版は特定の災害シナリオをベースに検討しているため、多様な災害事象に対して有効なタイムラインとしていくためには、災害対応後や試行訓練等でタイムライン運用の振り返りを行い、検証・改善を図っていくことが重要である。

○出水期における試行運用

平取町で災害の発生が予想される際にはタイムラインを試行運用する。運用メンバーは、できるだけ対応行動やタイムラインに基づく防災行動の問題点や課題の記録を残し、出水期後に検証・改善の検討を行う。

○試行訓練等の実施

出水期にタイムラインの運用がなかった場合などには、多様な災害シナリオに基づく試行訓練等を行い、運用の習熟度を高めるとともに、改善課題の抽出・協議を行う。